

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3992500011
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム ふたな
所在地	〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼6002-2
自己評価作成日	平成21年8月18日
評価結果市町村受理日	平成21年12月10日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年9月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3992500011&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

事業所では「花水木」の花言葉「私の思いを受けて」を理念とし、利用者のそれぞれの思いを大切に、出来る限り生まれ育った地域で人と触れ合いながら、ご自分でできることを活かしながら生活していただけるよう支援しています。本年からは、畑での野菜づくりに取り組み、職員も利用者や地域の方から作り方を習うなど、支え合いながら支援しています。また、職員のアイデアで月1回ホーム喫茶を開き、利用者や家族の方に団欒していただく機会を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は同一法人が経営する養護老人ホームと併設され、地域の高齢者福祉施策の拠点として位置づけられている。管理者、職員は利用者本位と地域密着型サービスの理念に沿った事業所の運営に当たり、自ら考えながら仕事にやりがいを持ち、職員提案で月1回開いているホーム喫茶は利用者、家族の団欒の場として好評である。また、本年度から始めた菜園での野菜作りには、地域の方も手伝ってくれるなど、利用者の経験を活かした触れ合いや食材として利用し食事の楽しみにつなげたり、地域住民との協力関係を築くきっかけとなっている。今後も併設の養護老人ホームが地域の指定避難場所となっていることなども活かして、地域に溶け込んだ事業所として発展することが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々のケアの場面場面や取り組みの中で理念を職員に明示し共有するとともに、利用者一人ひとりの思いを知り、生きがいを持って生活して頂けるよう、理念の実現に向けて取り組んでいる。	地域密着型サービスの役割を指した事業所独自の理念を職員で話し合い作成している。また、職員会等で理念を振り返り共有し、日々の取り組みに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	田役への参加やホーム周辺の草引きなど地域活動に取り組むほか、小学生との交流、地域の方には野菜作りを伝授してもらうなど、地域とのつながりを保つように努めている。	自治会には加入していないが、毎年春に行われる水路の清掃や、地区の祭りに参加するなど地域と接点を持つよう努めている。また、地域の方から野菜等をもらったり、野菜作りを教えてもらうなど、日常的にも交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族や知人の方に、認知症を理解していただくよう折に触れ説明したり、実習生を受け入れている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、サービスの実施状況、評価への取り組み状況などの報告を行っている。頂いた意見は真摯に受け止め向上に努めている。	事業所から運営状況等の報告を行い、委員から意見、質問が出され双方向的な会議となっている。前回評価の課題であった評価結果の報告等も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場の担当や地域包括支援センターに、入居者の状況や入退居について、報告・相談し、意見を頂いている。	利用者の受け入れ等に関して市町村の担当者に相談し助言等をもらうなど、日頃から関係づくりに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加した職員から、職員会や申し送り時に報告を受け、身体拘束の意義を理解し身体拘束を行わないケアに努めている。職員の理解の徹底のため繰り返し話題に取り上げ周知を図っていきたいと考えている。	身体拘束に関する研修内容を職員会等で職員全員が共有し、拘束をしないケアに取り組んでいる。外出願望のある利用者には、さりげなく職員が付き添い見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加した職員から、職員会や申し送り時に報告を受け、虐待について学習し、職員の理解と職員相互に注意し合うよう、継続して学習を深めていくことが必要と考えて性有。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居時に本人、家族様には説明を行っている。成年後見制度の研修を受けているが、内部研修を通じて全職員の理解を深めるよう取り組んでいく必要があると考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本人、家族様の希望等を聞き、グループホームとして出来ることや出来ないこと、またリスク等も説明して理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や状況等の報告時など、機会を捉えて意見を聞かせて頂くように努めている。また、相談機関を見やすい位置に掲示するほか、事業所から進んで説明を行うようにしている。	家族の来訪時や随時の利用者の状況を報告する際に、家族の意見を聞いているが、苦情や運営につながる意見、要望等は今のところ出されていない。認知症状等の説明は専門医と連携して対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会、申し送り時に、職員の意見を聞く機会を設けている。その都度職員が気づきやアイデアの発案が出され、ホーム喫茶の開催など運営に反映させている。	職員会で職員の意見を吸い上げる機会を設けており、月1回のホーム喫茶や地域住民から畑づくりを習うなど、職員の意見を採用し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与や勤務条件など就業環境は職員に満足してもらえるよう配慮している。特に、福利厚生事業を通じてリフレッシュと労をねぎらい、就労意欲の向上につなげている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は定期的に関催されており、外部研修も含めて、職員の研修への参加機会を確保し、勤務割などの工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	同業者と連絡会を通じた交流や地域のネットワークに関する会などに参加し、サービスの質の向上に活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	ご本人が納得できるよう、要望や不安について時間をかけて聞き取り、職員間で共有できるよう記録を細かくとり、信頼を得るよう努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	利用前から家族の意見をよく聞き、信頼関係を築くことを基本としており、要望等について時間かけて話を聞き受けとめる努力をしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人、家族様の意見を聞き、利用出来るサービスをインフォーマル面も含めて検討、説明している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	利用者の気持ちを大切に、野菜づくりや料理等の経験を職員が教えてもらうなど、共に暮らす者同士としてお互いに労わり、共感し合える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の暮らしぶりなど、近況、状況を適時報告し、ご家族の意見や希望は職員間で共有し、行事参加の声かけや家族会の際に懇談するなど、共に利用者を支えていく関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を初め、友人・知人の方に事業所を訪ずれていただくよう努めている。また住み慣れた自宅周辺にも出かけているが、すべての利用者に対応できていないことが課題である。	入居前からの行きつけの美容院に出かけたり、自宅の近くまで遠出するなど、馴染みの場所との関係を継続するよう支援している。また、ケアプランに馴染みの関係等を記載し、職員が共有して支援できるようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性を理解し、ぶつかり合わないよう、お互いを助け合いながら生活していただくよう、利用者同士の関係を取り持つ支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご本人の状況等について情報交換を行い、再入居の可能性等について相談を受けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の言葉や表情、行動から思い、意向の把握に努めている。また、意思の疎通の困難な方は家族から情報を得るようにし思いの把握に努めている。	利用者一人ひとりの生活歴や得意な事をもとに、何をしたいかいろいろと話題を提供しながら思いや意向を把握するように努めている。困難な場合は、家族等から情報を得るようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の入居前の生活や環境など、ご家族やケアマネージャー等と情報交換を行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の生活リズムが継続できるように努めている。また、利用者が現在出来ることに視点を置き、支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時等に意見を聞き、担当職員をはじめ職員の気づいたことを共有し、まず、本人の思いを第一に計画を作成するように努めている。今後、介護計画の作成に当たってさらに充実していくために、利用者、家族の意見の反映と職員間での情報交換を密にしていきたいと考えている。	家族の希望等も聞きながら、職員の日々の気づきをもとにチームで意見交換を行い、計画を作成している。計画の見直しは、長期6カ月、短期3カ月を基本とし、状況に応じ、1カ月毎やその都度見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に日々の暮らしぶり等を記録し、職員間で共有し、介護計画の見直しに活かせるように努めている。記録の在り方について、質の向上を図っていきたいと考えている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の希望と家族の同意を得て、在宅支援診療所・訪問リハビリを活用している。家族が宿泊する場合は予備室を利用することが可能である。また、本人、家族の希望に沿って外出・外泊など柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民や民生委員、小学生やボランティアなど、地域の人的資源との交流に努め、利用者が日々の暮らしを楽しむよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望を大切にして受診できるよう支援している。また、医師、相談員と情報交換し、受診結果を共有している。	協力医療機関の往診が月2回あるが、今までのかかりつけ医を希望する場合は受診できるよう支援している。受診結果については、家族の報告や医療機関から連絡を受けて職員間で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護職員と連携を図り、相談しながら健康管理、医療活用の支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病院の相談員と情報交換を行い、早期に安心して退院できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りの支援指針を作成している。日頃から思いを知ることにより重度化した場合には、本人、家族の希望を尊重し、ホームができること、できないことを理解して頂いた上で対応したいと考えている。</p>	<p>事業所で出来る支援について、本人、家族等と話し合い理解してもらい、関係機関と連携を取りながら支援している。事業所での看取りは今のところないが、本人、家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り医療機関で最期を迎えられた事例はある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時に職員が適切に対応出来るように努めている。今後も、実践を踏まえた研修を繰り返し行うようにしている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練を実施している。近所の方には協力をお願いをしている。また、法人が経営する施設までの避難経路を散歩コースに取り入れるなど、日頃から馴染むようにしている。</p>	<p>年2回の防災訓練を行っているが、地域住民の参加は得られていない。非常用食料、飲料水の準備はできている。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が欠かせないので、併設されている法人施設が地域の指定避難場所となっていることや、運営推進委員会に地域の防災担当者がメンバーに入っていることを活かし、引き続き、防災訓練に地域住民の参加、協力を働きかけていくことを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者は人生の先輩であることをいつも心に留め、理念に沿って利用者の尊厳を守るケアに努めている。</p>	<p>利用者の尊厳を守り傷つけないよう留意し、トイレの誘導時にさりげなく耳元で声かけするとともに、利用者のプライバシーを他に漏らさないよう職員に徹底し取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉のみではなく表情からも利用者の思いを汲み取るよう努めるとともに、利用者本人が自己決定できる場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	暮らしの主体は利用者であることを常に意識し、各自のペースに合わせた支援を行っている。また、その時々状況に応じ臨機応変にケアできるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの理美容院で整容したり、季節毎に利用者の好みや希望にそった衣類で身だしなみを整えるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ食事の準備に参加して頂けるような場面づくりに努めるとともに、片付けが出来る利用者は各自行っている。	利用者から食べたい物の希望を聞きメニューに反映させている。また、食材の調理や食器並べ、盛り付け、片付けなど、利用者ができることをそれぞれの能力に応じて行い、職員も利用者と一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェック、記録している。食器や調理形態を本人の好みに合わせるなどの工夫をしながら、栄養、水分の確保が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。必要に応じ介助を行い、夕食後は義歯を殺菌して清潔保持の支援をしている。協力歯科医の往診も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	行動、表情、時間をみながら排泄誘導を行い、失敗無くトイレで排泄できるように支援している。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、表情等も観察しながらトイレ誘導を行っている。夜間は吸収量が多いパットを使用し定時に交換するなど、おむつを使用しない支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動や水分量を確保し、必要に応じて食事の形態を工夫しながら、排便回数や便の形状等を把握し、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	最低2日に一度の入浴を設定しているが、体調に合わせて柔軟に対応している。入浴を拒否する利用者に対しては、家族のご理解を得て職員二人で介助を行っている。	利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせ2日に1回は入浴できるようにしている。入浴を拒む利用者には、言葉かけや好きなことを見つけて気分を変えるなど工夫をしながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	足浴をしたり、ちょっとした食べものを用意し、利用者にくつろぎと安心感を促す工夫をしながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	協力医の往診時に入居者の状態を医師に報告するとともに、利用者毎に処方されている薬病名がファイルで把握できるようにしているが、さらに職員全員で把握出来るようにしていく。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴や好みをもとに、毎日の生活のなかで喜びや楽しみが見出せるよう場面づくりや利用者の希望に添える支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物のほか、利用者の希望に沿って外出ができるよう、ご家族にも協力してもらいながら外気に触れる楽しみを作り出すよう努めている。	散歩は毎日行い、買い物にも月1～2回出かけるようにしている。家族の協力も得て、車椅子の利用者も一緒に手作りの弁当を持って事業所周辺の景色のよいところにピクニックに出かけたり、神社にお参りするなど支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理について利用者同士が不穏となることがあり、外出時等に家族に持参頂くようにしている。買い物時には利用者を見守りながら支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に応じて支援しているが、あまり希望が聞かれない。事業所としては利用者と家族のつなぎ役として家族の来訪時に利用者とは会話をする場面づくりに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食器の音や足音、戸を開ける音等、生活感を味わえるものでも、利用者には不快感を与えないよう配慮することが大切と考えている。</p>	<p>建物が新しく床や壁等木造の暖かい雰囲気がある。居間にはソファや畳が配置され、ゆったりとした広さがある。浴室も明るく車椅子の利用にも十分な広さを確保している。また、食堂と台所は対面式で家庭的な雰囲気を醸し出している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間には、ソファや畳スペースを確保し、利用者が思い思いの場所で過ごしてもらえるよう配慮している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>収納スペースが十分あり、家具の持ち込みは少ない。小物等馴染みの物を持参いただくようお願いし、心地よく過して頂けるようにしている。</p>	<p>利用者や家族と相談しながら、馴染みの物を置くなどそれぞれの居室の環境作りを工夫している。家族の協力が得られない場合でも、利用者の思いや職員のアイデアで、家族写真や好みの物を置くなど支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状況等に応じて、混乱や不安にならないよう、居室の表札やトイレの照明、のれん等を利用するなど、自立した生活が送れるよう支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名	西棟
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を念頭に、明るく一人ひとりの思いを知り生きがいを持ち生活して頂けるよう、日々のケアの場面場面や取り組みの中で職員に明示し理念の実施に向けて取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	田役への参加・小学生との交流・実習生の受け入れ・ホーム喫茶を開催し、地域との交流に努めている。野菜作りを伝授していただいたり、ホーム周辺の草引きも一緒に行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族の方、知人と認知症の理解が十分でない方が多く、会話の中で理解をして頂けるようお話をさせて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催し、サービスの実施報告・評価への取り組み状況の報告を行っている。頂いた意見は真摯に受け止め向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>入居者の状況報告・入居・退居の報告や、相談をし意見を頂いている。入居者の選定に当たっては、包括への情報を頂き意見を聞きながら行っている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修に参加し職員会や、申し送り時に報告。身体拘束の意義を理解し身体拘束を行わないケアに努めている。継続し又内容の充実を図っていく事を課題としている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し職員会や、申し送り時に報告。虐待についての学習をすると共に、職員の心の変化、体調等に気を配っている。継続して学習を深めていくことの必要性有。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居開始時に本人家族様には説明を行っている。職員は、外部研修を受講、必要時には説明できるよう努めているが、全職員が理解しているとは言えない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族様・本人の希望を聞き、グループホームとして出来る事・出来ない事・リスク等も説明し、理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談機関を見やすい位置に掲示すると共に、入居時に関わらず家族様・本人に説明を行っている。面会時や、状況・状態報告時などにも意見を聞かせて頂けるよう努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会、申し送り時に意見等を伝える機会がある。その他都度気付いた事への発案等の意見が聞かれている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	同業種間でも良い給与体系・条件だと考える。福利厚生に力を入れておられ社員旅行・忘年会等にてリフレッシュを図り、職員1人1人に伝わるよう労をねぎらう言葉がけがある。自己研鑽を促し向上を図るよう支援されている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加機会の確保、支援体制がある。法人内研修は定期的開催されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交流会・地域のネットワークに関する会など参加しサービスの質の向上に向けた取組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初は思いを知るよう傾聴に努め、職員間共有できるよう記録を細かくとっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の思いを聞き安心して頂けるよう努めている。入居当初には、本人のご様子をお知らせしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族様の意見を聞き、利用できるサービスをインフォーマル面も含め説明し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の気持ちを大切に野菜の作り方、料理等日々教えて頂き、共に暮らす者として互いに労わり、共感し合える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	近況・状況を適時報告し、伺ったお話は職員間共有している。行事参加の声かけや、家族会時に時間の共有を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様を初め、友人・知人にも訪問下さるよう努めている。また住み慣れた自宅へのお出かけも実施しているが、限られた入居者に留まっており、課題としている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や、その日の体調・気分を見極め、時には職員が間に入り、共にケアしあう関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も情報交換を行っている。再入居も可能であることを伝え、亡くなられた場合はお通夜に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の言葉や表情・行動から思い、意向の把握に努めている。意思表示の困難な入居者には家族様から情報を得るようにし思いの適切な把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の状況の情報を得、家族・ケアマネ等と情報交換を行い理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の生活リズムが継続できるよう努めている。又出来る事に視点を置き支援にあたっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会や、状況・状態報告時に意見を聞き、担当職員をはじめ職員の気づきを共有し、まず本人の思いを第一に計画を作成するよう努めている。十分ではなく学習を深め、情報交換に努め向上を図る事が必要と考える。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に日々生活記録に記録し、職員間情報の共有し、介護計画の見直しに活かせるよう努めている。記録のあり方にばらつきがあり記録の仕方の向上を図る必要がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>予備室があり、遠方の家族様には利用（宿泊）可能であることを説明している。外出・外泊も本人、家族の希望に対応可能である。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方、民生委員の方等にいつでも気楽に来て頂けるよう努めている。小学生との交流、ボランティアの方との交流を行っている。訪問に来て頂く事が主であり、こちらから出向く事が出来ていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の希望を大切にし、病院・医師と希望に応じ受診して頂いている。医師・相談員の方と情報交換を行っている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>法人内の看護職員と連携を図り共に相談しながら健康管理・医療活用の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と情報交換に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの支援指針を作成している。日頃から思いを知ることにも努め、重度化した場合には、本人・家族の希望を尊重し、ホームでの限界を理解して頂いた上対応したいと考えている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応の研修を実施している。緊急時に適切な対応が出来るよう、実践を踏まえた研修を外部研修、内部研修共に行う必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練を実施している。近所の方に協力をお願いをし、隣接施設までの避難経路を、散歩コースに組み入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であることをいつも心に留め、又理念の下尊厳を守るようケアに努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーション技法を学びながら本人の意思・希望を引き出すよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	主体は入居者である事を常に意識し、各々のペースに合わせた支援を行っている。その時々合った過し方ケアのあり方を入居者主体にて考えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	就寝・起床・入浴時等、ご本人に衣服を選択して頂ける様支援している。理美容は、家族様の協力により、行きつけのお店に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ力を発揮して頂けるよう、食事作り・盛り付け・片付け等に参加して頂いている。朝食は時間を決めず、各々の起床時間に合わせている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量をチェック・記録している。形態・器の工夫をし、必要な栄養、水分の確保が出来るよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施している。夕食後は、義歯の方はポリデント等にて殺菌している。歯科の往診体制有。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	行動・表情、時間を見排泄誘導を行い、失敗無くトイレで排泄できるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を使用せず排便出来るよう、運動・散歩・水分摂取・食事等にて対応に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や希望に合わせて、入りたい時に利用する事を基本としている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している	足浴の実施や、ちょっとした食べ物を準備し状況に応じ対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解して おり、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	全職員が十分に把握出来ているとは言えない。薬剤情報は確認しやすいようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている	家族様と過ごす時間を楽しみにされてる方には、家族様に協力をいただいている。ご飯より麺類の好きな入居者には、メニューの工夫を行う等個々の希望に添えるよう支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に努 めている。また、普段は行けないよう な場所でも、本人の希望を把握し、家 族や地域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	本人の希望に沿えるよう出来るだけ努めているが、周囲の状況により瞬時の対応が出来ない時が多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理する事は困難で、又「盗られ妄想」にてお互いが不穏になる事もあり、外出時に家族様に持参頂いている。入居者が買いたい物を選び支払いは見守りにて実施している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ対応を基本としているが、あまり希望が聞かれないので、状況・状態の報告時に、家族様とお話をして頂けるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所での食器の音・職員の足音・戸を閉める音等入居者にとって不快音だと認識はしているが、十分な配慮が出来ているとは言えない。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	見晴らし良く、一体化した空間であるが、ソファ・テーブル・畳のスペースと、思い思いの場所で過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>収納スペースが十分あり、家具類の持込は殆ど無い。小物等の馴染みの物を持参頂くようお願いし、心地よく過ごして頂けるように努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>混乱により不安になられる入居者には、状況や本人の気持ちを配慮した上で、表札・トイレの明示、のれん等を利用し自立して生活して頂けるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名 東棟	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない